

科名 外科 外科—63(b)

対象疾患名 手術不能又は再発乳がん

プロトコール名 weeklyPTX80+GEM1200

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残ハキ可	↓		↓		
2	点滴注	側管	デキサート注 ファモチジン注 グラニセトロンバッグ	6.6～19.8mg 20mg 1mg	30分かけて	↓		↓		
3	点滴注	側管	ネオレスタール注 生食	10mg 50mL	30分かけて	↓		↓		
4	点滴注	側管	パクリタキセル 生食	80mg/m ² 250mL	1時間かけて 専用ルート使用 ※壊死性抗癌剤	↓		↓		
5	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	1200mg/m ² 100mL	30分かけて	↓		↓		

★1クール=21日

～MEMO～

・催吐レベル3(90～30%)

＜パクリタキセル＞

禁忌:薬剤アレルギーの既往の多い症例,アルコール含有,アルコールアレルギーの確認要

アレルギー-好発時期:初回,2回目(投与開始から10分間はベッドサイドを離れない)

PVCフリーかつフィルター付き(回路名:JY-PF340P52)を使用

薬剤特徴:1mL=20滴⇒滴下数1.6倍(90滴/分×1h)

＜ゲムシタビン＞

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。

・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。

- ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
- ②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
 - ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
 - ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。